



セミナー概要

主催

公益財団法人ユニバーサル財団

後援

一般社団法人日本ケアマネジメント学会
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟
特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会
(以上、申請中)

一般社団法人日本社会福祉学会
公益社団法人日本社会福祉士会
日本ソーシャルワーク学会

プログラムの目的

- ① 「アロハ精神」「オハナ」等、ハワイ固有の文化に根ざし実践されているソーシャルワークの概要を学習する
- ② ソーシャルワーカーという専門職の実際を見聞し、その精神とあり方を体験的に学ぶ
- ③ ハワイの地域住民とのふれあい等を通して異文化を体験し、効果的なコミュニケーション・スキルを学ぶ
- ④ 講師やメンターとの交流・参加者同士の支え合いにより学習の理解を促進する



日程

2025年2月16日(日)～3月2日(日) 15日間

開催場所

ハワイ大学マノア校
宿泊ホテル会議室、その他



対象

ソーシャルワーカーをめざす大学院生・大学生

コーディネーター

浅井 正行
フランシー・ジュリアン・チン
クリスティアン・ミヤモト
キョウコ・ヘバリー

明星大学人文学部福祉実践学科教授、ユニバーサル財団理事
ハワイ大学トンプソン・ソーシャルワーク公衆衛生学部助教授
ハワイ大学ジョン・A・バーンズ医学部小児学科、ハワイ母子健康 LENDプログラム管理者
イオラニスクール教員、プナホウスクール教員、スクールカウンセラー



プログラム

ハワイの社会には、他を思いやり、受け容れる「アロハ精神(Aloha Spirit)」が広く浸透しています。異なる価値観や思想、宗教、伝統、生活様式をもつ人々がともに生きる上で、またソーシャルワークの実践をおこなう上でも、拠りどころとされています。

本セミナーは、多文化環境におけるソーシャルワークに関する学術的な研究と実践で第一級の評価を得ているハワイ大学マノア校と提携し、社会福祉を学ぶ大学院生・大学生をハワイに派遣し開催します。

プログラムは、主に「学生参加型」に組まれています。講義、ディスカッション、小グループでのエクササイズ、現地のソーシャル・サービス機関の見学の他、地域住民とのふれ合い、カルチャーアクティビティなどを通して、アロハ精神を体験しながら、現代アメリカのソーシャルワークを学びます。

ハワイ固有の文化や習慣が尊重されるとともに、様々なバックグラウンドをもつ人々との調和や、自然との共生が重んじられるハワイに身を置き、ソーシャルワーカーとしての感性を磨く、かけがえのない体験をしてみませんか。





参考スケジュール

第1週

日付	午前	午後
1日目 (2日目)	東京発 → ホノルル着 → ホテルへ	オリエンテーション
3日目	講義 多文化環境における ソーシャルワークの課題	実習 自己を知る
4日目	実習 サービス・ラーニング(ハワイ伝統文化体験)	
5日目	講義 終末期のケア	講義 特別な支援と障がい者
6日目	見学 クラナマラマ小児施設	見学 コミュニティーズ・イン・ スクール(NPO)
7日目	見学 ファミリー・プロミス・オブ・ハワイ (ホームレス支援施設)	見学 インスティテュート・フォー・ヒューマン・ サービス(ホームレス・シェルター)
8日目	見学 ザ・プラザ(ケア付高齢者住宅)	見学 セント・フランシス・ホスピス

第2週

日付	午前	午後
9日目	講義 プレゼンテーション・スキル・ ビルディング	メンターセッション
10日目	見学 アメリカ赤十字社: 災害対策	見学 ハワイ州議事堂
11日目	見学 女性コミュニティー更生センター (女性刑務所)	見学 YWCA (女性のための社会復帰プログラム)
12日目	講義 パーソナル・ストーリー (メンターの経験談)	実習 デザイン・シンキング・ ワークショップ
13日目	プレゼンテーション発表 セミナーの振り返り、評価	メンターセッションのまとめ 修了式
14日目	ホノルル発	
15日目	東京着	

* 参考まで2018年度のカリキュラムを紹介します。本年度のセミナーのスケジュールは調整中です。
記載のカリキュラムと大幅に変更することがあります。

* 夕方から夜にかけて、カルチャーアクティビティなどのセッションがあります。



参加者の声



ハワイでの経験を活かし 日本ならではのソーシャルワークを

岸本 尚大

第15期生。首都大学東京大学院 社会福祉学分野(修士課程)在籍時に参加。
社会福祉法人名古屋市協議会 主事・分室管理者(地域包括支援センター)
東京都立大学大学院 博士後期課程在籍中

セミナーは非常に凝縮されたプログラムで、私の価値観や考え方を大きく変化させるものでした。本場のソーシャルワーク実践・理論を体感できる様々な実践・学びの場に身を置き、そこでは「核心を突く質問をする」など積極的な姿勢が求められました。日本で学んだ知識が実感を伴う理解へとシフトし、大切な自分の財産となった多くの瞬間を思い出します。

ハワイでは、独自の文化・社会背景を踏まえた、多様性の視点に基づくソーシャルワークが展開されています。異なる背景を持つ者同士が互いを理解するためには、まずはきちんと向き合える関係を築くことが大切だと実感しました。ソーシャルワークのグローバル定義には、「地域・民族固有の知」が位置づけられているように、近年各国・地域に適応したソーシャルワークの展開が求められています。セミナーでの経験や仲間とのつながりを原動力に、日本ならではの多様性を尊重した、ソーシャルワークのあり方を模索していきたいと思えます。



自ら問い、行動を起こす ソーシャルワーカーを養成

本間 萌

第5期生。岩手県立大学大学院 社会福祉学研究科在学時に参加。
岩手県立大学社会福祉学部 社会福祉学科コミュニティ福祉系講師

私にとってセミナーの経験は、ソーシャルワーク教育の大切さを考える出発点となりました。ハワイ大学の講義や施設見学など多彩なプログラムを通して、ハワイが抱える課題を学び、日本との違いだけでなく同様の課題を抱えていることも知りました。加えて、自ら問いを持ち仲間と議論すること、物事を多面的に考えることの面白さを学びました。

現在は大学で社会福祉士の養成に携わるなかで、学生に人や社会に働きかけるこの仕事の責任の重さや素晴らしさ、それゆえに専門職として必要とされることを伝えています。今後も先人たちが培ってきた歴史に支えられた理論を持ち、自ら問い行動を起こすことができるソーシャルワーカーの養成に携わっていきたいと思えます。



募集要項

募集人員 20名

日程 2025年2月16日(日)～3月2日(日) 15日間

開催場所 ハワイ大学マノア校
宿泊ホテル会議室、その他

対象 ソーシャルワーカーをめざす学生(大学院生・大学生)
* 通訳がつかますので英語の能力は問いませんが、
英語習得にチャレンジする意欲のある学生を募集します。

費用 150,000円(概算:国際航空券代)
この旅行を取扱う旅行会社から国際航空券を購入していただきます。

宿泊先 イリマ・ホテル(ツインまたはトリプルルーム)

申し込み 参加希望の方は、次のものを当財団宛に郵送にてご提出ください。
* 所定の参加申込書
指導教員の推薦をいただけてください。
* 1,000字程度の作文
テーマ「ソーシャルワークについて思うこと・考えること」

締め切り 2024年10月25日(金) 当日消印有効

選考結果 12月6日までにご連絡します。
* 選考の決定は文書によって通知します。
* 提出いただきました申込書類は返却しませんのでご了承ください。
* 採否の理由等、選考に関わる内容につきましてはお問い合わせに応じかねますのでご了承ください。

備考 * 参加決定後に提携する旅行会社に申し込んで、羽田空港ーホノルル空港往復国際航空券を購入していただきます。(15万円を超えることはありません。)
* 宿泊代、保険料は、当財団でお支払いします。(海外旅行傷害保険に加入していただきます。)
* 次のものは個人負担していただきます。
● 食事代
(昼食・夕食それぞれ3回と、土日については個人負担していただきます。それ以外の昼食・夕食、また簡単な朝食は当財団で準備します。)
● 自由行動にかかる費用
● パスポートの取得、ESTA申請にかかる費用(未取得・未認証の方のみ)
● 自宅から羽田空港までの往復交通費
● その他現地での小遣い等
* 日本発着空港は「羽田空港」となります。
* セミナー参加に際して特別な配慮を要する場合は、選考後に費用等、参加に向けての協議をさせていただきます。
* オリエンテーション(出発準備ガイダンス)を12月に都内で行います。
* セミナー終了後に報告書(レポート)を提出していただきます。
* 個人情報の取扱いについて
参加申込書にご記入いただいた内容は、当セミナー選考委員による選考、当財団からご本人および指導教員への連絡以外には使用しません。なお、参加決定者については「本人氏名・学校・学部・学科・年次」「指導教員氏名」を講師・スタッフ・参加学生等のセミナー関係者に公表します。予めご了承ください。



ハワイ大学(マノア校)



イリマ・ホテル



【お申し込み・お問い合わせ先】

公益財団法人ユニベール財団

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPCビル 5階

電話 : 03(3350)9002 Fax : 03(3350)9008

info@univers.or.jp www.univers.or.jp